



『ヨーガと空の科学』読書会第1回報告

丸岡 ヒロ

2012年11月25日に第1回読書会を行いました。充実した議論ができました。
第1部第5章迄を各自事前に読んで、分かりにくいところ、疑問点、話し合いたいことなどを出し
合って話題を深めてみました。以下、そのエッセンスをご紹介します。



思考の速さ、エーテル空間、メンタル体(2~3頁)

- * 物理学の世界では、光より早いものは存在し得ないが、これは、物理学を超えた世界の話であること。物理学の世界的権化アインシュタイン博士は、物理学を超えた世界(時空を超えた世界)を知り、その世界についても語っている。
- * エーテル体とは何か？
神智学によると、エーテル体は物理的肉体(アンナマヤ・コーシャ)とアストラル体を結びつけているものであって、通常プラナーナやオーラとして感知されている。
- * メンタル体とは何か？
メンタル体はアストラル体とコーザル体の間にあって、低位の自我や人格を形成し、正常に機能すれば、より明確な思考としっかりした自己表現ができる。
- * これらの体は、アストラル体やコーザル体と同様に、物理的肉体と同じ空間を共有し、エネルギーレベルや波動の周波数の違いによって、区別されている。(深層部、上層部にゆくほど、微細で精妙なエネルギーになっている)
- * ヨガでは、私たちが生きている物理的な三次元の世界(ブーローカ)の上位に6つの世界(ローカ)があると説かれ、ブヴァローカ、スワルローカ、マハーローカ、ジャナローカ、タポローカ、サティアローカと呼ぶ。

[ガヤトリーマントラの冒頭、Bhur(ブー) Bhuva (ブヴァ) Suaha (スワル)はこの世界のことです]

- * フィジカル体、アストラル体、メンタル体にはそれぞれの体に対応した世界(フィジカル界、アストラル界、メンタル界)があって、その階層固有の素材・波動・エネルギーレベルで特徴づけられている。
- * 神智学的には、コーザル体は更に上層のブッディー界(マハーローカ)に属しているが、更に上層のアートマ界(ジャナローカ)、モナド界(タポローカ)、ロゴス界(サティアローカ)にゆくに従っ

て、霊的な体の形態は徐々に失われてゆき、最高次元のロゴス界では形態は完全に失われ、全ての人間はひとつに溶け合っ、ニルヴァーナの世界という。

- * 神智学的には、メンタル界、コーザル界を霊界、アトマ界とその上層の世界は神の世界と言われている。
- * 夢を見たり、熟睡をすることによって、私たちは毎日上層の世界を体験している。(しかし、体験を忘れてしまう)
- * 質の良い瞑想をするようになると、この世界を体験するようになる。(超意識状態・肉体離脱—きちんと記憶に残る)



エーテル、エーテル空間(3 頁)

- * 空、真空とは何か？

空っぽではなく、何かが満ち満ちていること、満ち満ちているものがエーテル(空)である。

今年実在が実験的に証明され、世界中を騒がせているヒッグス素粒子は宇宙空間に満ち満ちていて、モノの存在を可能にしている神の素粒子とも言われている。

宇宙の始まりのビッグバンの直前は“空”、何もない状態、真空であったという。

真空とはケタ外れの強大なエネルギーの存在を意味し、このエネルギーによって宇宙のビッグバンが起こり、宇宙が始まったとする最新の学説と呼応する。



思考の重さ、形、名称、色…(10～11 頁)

- * すべての思考には重さや形、名称、色があり、思考は心の産物である。思考が実現すると思考の粗雑な形は目に見えるが、一緒に存在している名称と色は微細な状態であり、目に見えない。しかし、訓練したヨーギには見える。

同様に、目に見える私たちの物理的肉体も粗雑で、目に見える姿形だけに囚われた把握は表面だけの理解で、目に見えない微細な体や色と一緒に存在する。その微細な体や世界を感じ取る訓練がヨガであり、瞑想である。

- * その訓練によって、思考を内なる目で直接見るのが解脱したヨーギである。



世界は思考の投影である(14～15頁)

- * ここで言う“世界”の意味は？

- ①私の(見ている、感じている、作っている)世界とあなたの(見ている、感じている、作っている)世界とは違っているし、それは私(又はあなた)が作り出した世界だから、私(又はあなた)の心

で一瞬にして作り出し、破壊できる。夢の世界もまた同じ、という読み方。

- ②だがここでは、さらにこの宇宙の存在(現実の世界)そのものが、永遠不滅の究極の存在であるブラフマンの作り出したものであること、ブラフマンの思考がすなわちこの宇宙を創造した心(宇宙は心のみ)である、という読み方の発展ができる。

読書の仕方として

- ① 文字を流し読みして、おおまかな概要のみをつかむ読み方、
- ② 表面だけを読んで理解したと思う読み方、
- ③ 書かれている文章に含む深い意味までを読み取る読み方、
- ④ そこから発展して関連する事柄などを調べ、体系付けて広く深く理解する読み方、

があると言えます。ヨガで使う言葉の意味は、日常での使い方より深く独特(物理的な世界を超えた理解が必要)であるとも言えます。今回は、話し合うことによって理解の深さを確認して、表面で使われている言葉の奥にあるメッセージを探ってみました。このように進めると、あぶり出し絵のように深い意味が浮かび上がってきます。すると、一層興味深く、おもしろくなります。

また今回は、アハ体験、映画『祈りーサムシンググレイトとの対話』なども話題になりました。

次回は12月16日(日曜日)13:00~15:00です。

今回の参加者は、初回ということもあり、マッキー、大きいアッコちゃん、太田さんに、私ヒロの4人だけでしたが、次回から興味のある方、読んでみて疑問のある方、より深い理解に発展させたい方など積極的なご参加をお待ちしています。(次回は第1部第10章まで第1部全体が対象範囲です)

